



～ここは東京丸の内にある運用会社「一寸アセットマネジメント」～  
今日も“ちょっと”気になる巷の出来事が話題  
一寸アセットマネジメントのとある一日  
「イランと米国の関係」 (第55号)

ここは東京丸の内の運用会社（一寸アセットマネジメント）のある日の昼休み。  
マルチリサーチ部のメンバーは、日頃“ちょっと”気になる出来事で雑談中です。

・今日の雑談メンバー

O部長・・・運用から営業まで、この道ひと筋30年の大ベテラン。仕事のみならず家事も大得意。

N課長・・・運用経験あり。人脈が広く、あらゆる情報をキャッチ。気になるワードはメモに書きとめる。

A係長・・・最近気になるキーワードは「自動運転」「ブロックチェーン」。

O部長



トランプ政権が核合意離脱による対イラン制裁の復活として各国にイラン産石油の禁輸要請を出したね。

A係長



そもそもイランと米国の関係って良くないと報道等では言われています。一方、同じイスラム圏でもサウジアラビアと米国は関係が良好と言われています。

N課長



第二次世界大戦あたりまでは、両国の関係は非常に友好だったとの話はよく聞きます。1900年代初頭にイランでの油田発見以降、英露などが利権を求め積極的に進出してきました。

O部長



英露の進出に対抗するために、イランに接近したのが米国だね。紆余曲折はあったものの1979年のイラン革命までは少なくともイラン政権側と米国は良好な関係だったんだよ。

A係長



イラン革命?! 西欧諸国寄りだった専制政治を打倒した民主主義革命で、反米・反キリスト教を掲げてイスラム化を推し進めた革命でしたっけ?

N課長



そのとおり! イラン経済の不調に加え、石油の利権を西欧諸国が握っていたことや、世俗主義による脱イスラム的な政策が民衆に支持されなかったと見る向きがありますね。

### イランと米国をめぐる主な出来事

年号	主な出来事
1912年頃	イランで原油生産開始
1952年	イラン石油国有化
1963年	国王によるイランの近代化・西欧化を進める白色革命の推進
1979年	専制政治の打倒、イスラム化を進めるイラン革命成功。米国大使館人質事件発生
1980年	イラン・米国国交断絶 イラン・イラク戦争勃発
2006年	イランに核開発関連活動停止を求める国連決議採択
2015年	イランと6ヵ国(米英仏独露中)による核合意
2018年	米国による核合意離脱表明

出所) 各種報道資料などをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

○部長



中でも両国の関係が決定的に悪化したと言われるのは、なんといっても『米国大使館人質事件』だね。イラン革命と同じく1979年に学生などが米国大使館を占拠したんだよね。

A係長



確か事件を題材にした映画もあったような。。。この際のカーター民主党政権の対応に国民の非難が集まり、再選できずレーガン共和党政権の樹立に繋がったとの見方もありますよね。

○部長



1980年に国交が断絶した前後から経済制裁が始まり、2006年からは国連安保理決議で核開発への経済制裁が科されたんだよ。

N課長



その後、2015年に国連常任理事国などとの間で核合意がなされ、核開発の規模低減を条件に、経済制裁が一部緩和されることとなりました。

A係長



経済制裁の緩和によって、原油関連部門の輸出などが復活し2016年の実質GDP(国内総生産)成長率は対前年比で+12%以上になったと聞きます。

N課長



しかし、トランプ政権は5月に核合意離脱を表明しました。日本を含む各国にイラン産原油の取引停止を求めるなど、イランへの経済制裁復活を目指しているものと思われます。

○部長



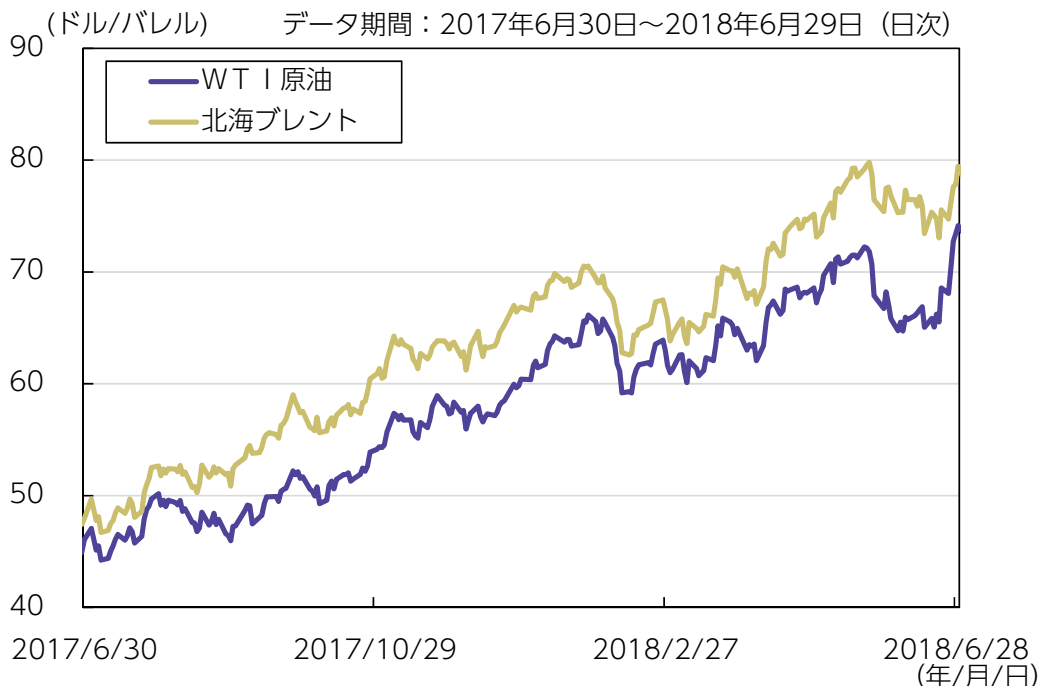
イランとの取引停止による供給量懸念から原油価格は上昇傾向で推移してるね。トランプ大統領はサウジアラビアに増産の協力要請をしたとの報道もあったね。

A係長



原油価格が上がってもオイルショック時のようにトイレトペーパーを買い占めに走らないんでしょうね。今は温水シャワー付きトイレが発明されましたから。時代は変わります(笑)

### 直近1年の原油価格の推移



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社  
コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）  
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>